

農家の人の努力

東海村立中丸小学校 五年 勢子 瑞己

僕は副読本を読み、果物を作る人の大変さを知りました。一番大変な仕事は、りんごの場合は摘花という作業で、栄養が行きわたるように、中心の花を残して、まわりの花を手で摘み取っていく事だと分かりました。りんごの木一本につき、七千五百ほどの花を摘み取るそうです。みかんの場合は摘果という作業で、暑い夏の時期に手作業で、千五百個ほどの実を取る事で、とても根気のいる作業だと知りました。他にも農家の苦労を調べてみると、自然相手の仕事なので、夏は暑い中、汗だくになりながら畑の手入れをし、冬は寒い中、朝早くから起きだして収穫をしなければなりません。また、立ちっぱなしの作業が多いため、身体をこわしたりする事も多いそうです。それから台風や大雨、地震などが起こると、大事に育ててきた果物が、一瞬にして売り物にならなくなってしまい、とてもがっかりし、生活にも困ってしまうそうです。このような苦労をして、農家の人が果物を作っている事が分かりました。

そのような果物が、味は良くても傷が付いているなどの理由で、捨てられてしまうという問題があります。農家の人が苦労して、一生懸命作った果物が、簡単に捨てられてしまう事は、悲しい事だしいと思いません。僕は、傷が付いていたりしても、味が良ければ売っても良いと思います。このような事を、多くの人が心がければ、捨てられる果物は減り、農家の人にとっても嬉しい事だと思います。

これから僕は、果物を作る農家の人の努力を感じながら、果物を食べ、簡単に捨てたり食べ残しをしないようにしたいです。